

■ レスポンシブル・ケア監査 (RC監査)

基本的な考え方

レスポンシブル・ケア監査 (RC監査)とは、安全と環境を守り、製品安全・品質を維持向上する活動が正しく行われていることを、チェックして問題点があれば改善を促す仕組みです。

住友化学グループにおけるレスポンシブル・ケアグローバルマネジメントを進めていく上で、RC監査活動は、事業遂行上の業務およびその管理・監督の状況をコンプライアンス、有効性と効率性、財務報告の信頼性の観点から検討・評価し、改善・合理化の助言・提案を行うことにより、コンプライアンス違反、不正または錯誤の発生を予防し、会社財産の保全および業務効率の向上を図り、当社およびグループ会社の経営の改善と内部統制システムの構築、維持、改善に資する機能を果たしています (レスポンシブル・ケア監査規程)。その機能は、以下の4ステップアプローチになります。

第1ステップ：経営理念を共有する

第2ステップ：レスポンシブル・ケア (安全、健康、環境、品質) 基本方針、レスポンシブル・ケアマネジメントシステム、レスポンシブル・ケア業務標準の理解を促し共有する

第3ステップ：グループ各社にて最適なレスポンシブル・ケアマネジメントシステムを構築する

第4ステップ：RC監査を受けることで、レスポンシブル・ケア活動の方向修正やレベル合わせを行う

上記のステップを通じたface-to-faceのコミュニケーションの中で、グループ各社の規模や業態、特性に応じたレスポンシブル・ケアマネジメント構築を支援しています。このようなRC監査の中で構築されたグループ会社との信頼関係が、グループ各社のさまざまな課題解決のための個別支援や活発な意見交換などに活かされています。

マネジメント体制

住友化学には専任のRC監査組織があります。レスポンシブルケア部担当役員の委嘱を受けた、レスポンシブル・ケアに関する知識・経験と監査技術を有する専任の監査員が、毎年度レスポンシブル・ケア委員会 (RC委員会)にて承認を受けたRC監査方針およびRC監査計画に基づき、社内はもとより、国内外のグループ会社 (監査対象とすべきと判断される連結経営会社および要請

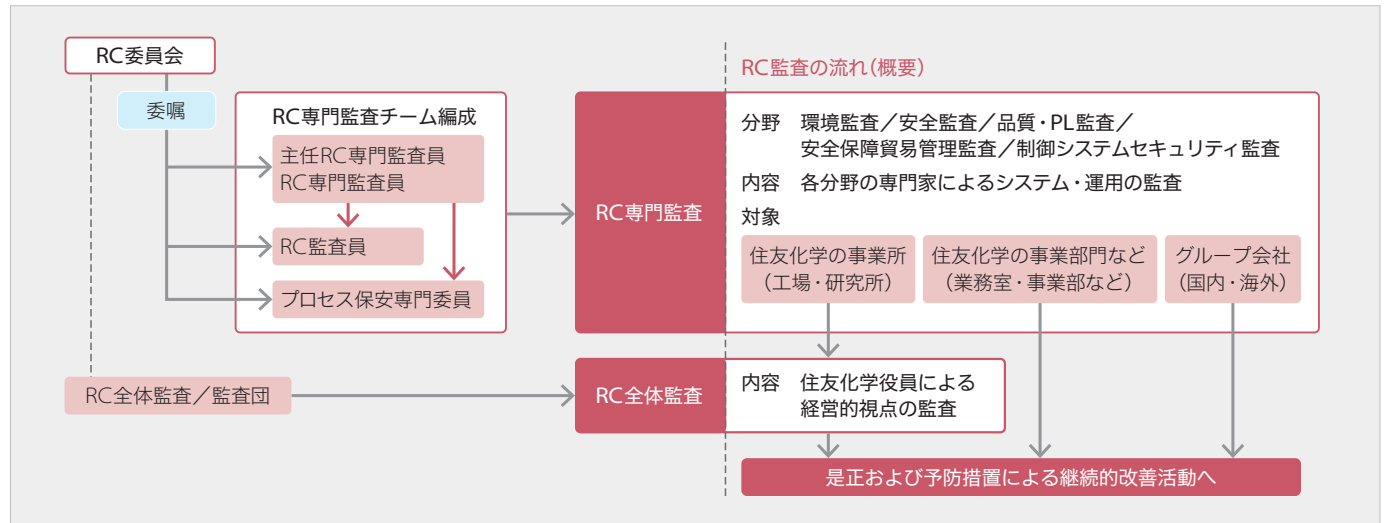
を受けたグループ経営会社、上場グループ会社 (その子会社も含む))への監査を実施しています。2024年度は、監査計画通りに国内外グループ会社に対する現地監査を全て実施しました。社内事業所 (工場・研究所)においては、レスポンシブルケア部担当役員が編成した監査団に対して、RC専門監査での重要な指摘に関する是正・予防処置の進め方、ならびにレスポンシブル・ケア活動概況と重要課題を報告し議論する、経営的視点のRC全体監査も実施しています。

引き続き、コンプライアンス違反、不正または錯誤発生の予防と住友化学およびグループ会社の経営の改善と内部統制システムの構築・維持・改善を図っていきます。

対象と周期

原則として住友化学の工場・事業部門は1年ないし2年、国内外のグループ会社は3年です。

■ RC監査の体制



目標・実績

■ RC監査実績(住友化学グループ)

事業所等	2022年度	2023年度	2024年度
工場・研究所	8	7	7
独立研究所	0	1	1
物流中継所	0	0	0
事業部門	4	4	3
国内グループ会社	21	10	8 ^{※3}
海外グループ会社	12	13	3 ^{※3}
全体監査 ^{※2} 工場・研究所、独立研究所	5	8	6
合計	50	43	28

(注) P1「RC監査の体制」参照

※1 各分野の専門家によるシステム・運用の監査

※2 住友化学役員による経営的視点の監査

※3 2024年度の対象グループ会社は、国内31社(50事業所)、海外31社(37事業所)。その中から監査対象と判断し、現地監査した実績。

■ 2024年度 事業所・事業部門の専門監査における指摘件数(住友化学)

指摘区分	事業所(工場・研究所)	事業部門(本社事業部)	合計
評価できる事項	18	3	21
改善が必要な事項	67	11	78
検討を要する事項	66	8	74
合計	151	22	173